

土砂防だより



雲海に浮かぶ富士（静岡市）

静岡県支部通常総会	2
(一社)全国治水砂防協会通常総会	3
土砂災害防止月間の取組	4
●土砂災害防止月間啓発活動の実施	
●市町等における広報活動の取組	
●路線バス等のフロント広告を活用した土砂災害防止の啓発	
「土砂災害・全国防災訓練」を実施	6
「七夕豪雨災害」から50年	7
令和5年度砂防関係事業の代表的な完成箇所	8
わがまち(小山町)	9
歴史探訪 全国治水砂防協会静岡県支部の誕生	
インフォメーション	10
募集・お知らせ	12

特集

第79回全国治水砂防協会 静岡県支部通常総会

土砂災害防止月間の取組

「土砂災害・全国防災訓練」を実施

特集

「七夕豪雨災害」から50年 ～あの土砂災害を自分事に～

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催



須藤支部長の挨拶

5月29日(水)、全国治水砂防協会静岡県支部の令和6年度(第79回)通常総会を静岡市内で開催し、県内の市町長と土木事務所長が出席されました。

開会にあたり、支部長の須藤富士宮市長から、約7割が山地である本県では、毎年約70件の土砂災害が発生し、特に令和4年度は台風15号を中心に全国第1位となる211件の土砂災害が発生したことに触れ、頻発する土砂災害から県民の生命・財産を守る土砂災害対策では、施設整備の推進とともに、ハザードマップの作成・配布や防災訓練等のソフト対策が重要であり、砂防協会による啓発活動、会員相互の連携及び国や県との協調を訴えました。

続いて、来賓の増井副知事、鳥澤県議会副議長、国土交通省砂防部の植野砂防施設評価分析官、(一社)全国治水砂防協会の大野理事長より御祝辞をいただき、県内3つの直轄砂防事務所長等の紹介の後、議案の審議が行われ、令和5年度の事業報告と収支決算報告、令和6年度の事業計画と収支予算等が原案どおり承認されました。

多数の会員の皆様に御出席をいただき、誠にありがとうございました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。



増井副知事の挨拶



鳥澤県議会副議長の挨拶



植野砂防施設評価分析官の挨拶



大野理事長の挨拶

参加市町

富士宮市、伊豆市、森町、南伊豆町、川根本町、東伊豆町、小山町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、静岡市、浜松市、沼津市、三島市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市(計27市町)

※太字は首長が参加(12市町)

土砂災害対策講演会を開催

総会終了後に、土砂災害対策講演会を開催し、国土交通省砂防部植野砂防施設評価分析官には『「いのち」と「暮らし」と「みどり」を守る砂防』と題し、近年の土砂災害の発生状況や最新の砂防行政の取組などを講演していただき、また、大野理事長には『近年の土砂災害から学ぶ』と題し、今年1月の能登半島地震における土砂災害の被害状況について講演していただきました。会員からは、今後の砂防事業の課題等についての質問があるなど、大変有意義な講演会となりました。



植野砂防施設評価分析官の講演



大野理事長の講演

全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月23日(木)、(一社)全国治水砂防協会の令和6年度(第88回)通常総会が砂防会館で開催されました。当日は、多くの国会議員とともに、全国各地から多数の会員(市町長)が出席され、当支部からは、10名の会員に御出席いただきました。

森山会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、令和5年度の事業報告と収支決算報告、全国の砂防関係事業の拡充・促進を図る令和6年度の事業計画と収支予算等が原案どおり承認されました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



森山会長の挨拶



齋藤国土交通大臣の挨拶



大野理事長の報告

本県の参加市町

伊豆市、森町、南伊豆町、東伊豆町、袋井市、湖西市、伊豆の国市、河津町、西伊豆町、函南町、三島市、富士市、富士宮市、御殿場市、長泉町（計15市町）

※太字は首長が参加（10市町）



総会の状況

令和6年度「土砂災害防止月間」

6月1日(土)～30日(日)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線等により雨量が多く、地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

令和6年度の主な活動

- 土砂災害防止月間啓発活動の実施
 - JR静岡県コンコース啓発活動
 - 砂防フェスティバル2024の開催
- 市町等における広報活動の取組
- 路線バス等のフロント広告を活用した土砂災害の啓発
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施
- 急傾斜地パトロールの実施
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示

1 土砂災害防止月間啓発活動の実施

土砂災害の発生状況や砂防関係事業のハード・ソフト対策の取組に関する情報を発信し、県民の皆様に土砂災害防止に対する理解と関心を深めていただくよう、啓発活動を実施しました。

JR静岡駅コンコース啓発活動

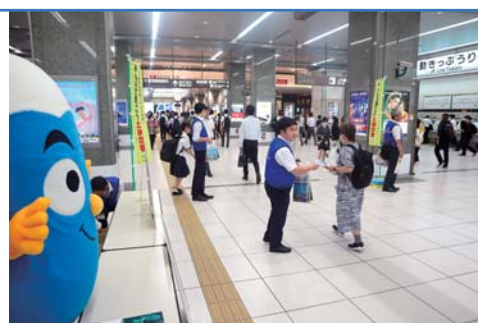
6月5日(水)、県、国土交通省静岡河川事務所、静岡地方气象台、静岡市の職員が、JR静岡駅改札前コンコースで、土砂災害防止チラシやパンフレット、啓発グッズを配布し、県民の皆様に土砂災害について理解を深めてもらう啓発活動を行いました。

また、JR静岡駅改札口前と今年は新たにJR浜松駅構内で、電光掲示板による土砂災害からの避難に関する啓発を行いました。

砂防フェスティバル2024の開催

6月15日(土)、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2024～」を開催しました。

このイベントは、土砂災害の発生状況や砂防関係事業のハード・ソフト対策の取組に関する情報を発信し、県民の皆様に土砂災害防止に関する理解と関心を深めていただくことを目的に、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡地方气象台、静岡県、静岡市の共催で毎年開催しています。県のブースでは、パネル展示や動画による事業紹介に加え、土砂災害に関するアンケートやクイズを行いました。当日は天候に恵まれ、用意していた啓発グッズがすべて配布されるほどの大盛況となりました。



JR静岡駅啓発活動



浜松駅構内の電光掲示板



静岡県のブース

の取組

2 市町等における広報活動の取組

市町や土木事務所において、土砂災害防止の広報活動として、広報誌やホームページ等への掲載、庁舎の横断幕や懸垂幕等の掲示、公用車へのマグネットシートの貼付やポスターの掲示などに取り組んでいただきました。

広報誌への掲載	静岡市、富士宮市、伊東市、富士市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、函南町、清水町（全13市町）
インターネットを活用した広報	熱海市、伊東市、袋井市、御前崎市、南伊豆町、西伊豆町、函南町、森町（全8市町）、各土木事務所
横断幕、懸垂幕、立看板の掲示	静岡市、富士宮市、伊東市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、河津町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、清水町、森町（全13市町）、静岡県各総合庁舎等
ポスター掲示	県内セブンイレブン760店舗、各市町役場等、各土木事務所、各地域局、各農林事務所
路線バスのフロント広告	東海バス、伊豆箱根バス、富士急バス、静鉄バス、遠鉄バス（全5社）、コミュニティバス（下田市、沼津市、三島市、長泉町、小山町、富士市、富士宮市、湖西市（全8市町））



令和6年度 土砂災害防止月間ポスター

3 路線バス等のフロント広告を活用した土砂災害防止の啓発

県内の路線バスを運行するバス会社5社に加え、6市2町のコミュニティバスと連携し、バスフロント部の広告を活用し、「日頃の備え」と「早めの避難」を県民の皆様周知しました。

この取組では、県内の都市部から山間部までの広い範囲で、バス運行時間の長時間にわたり、バス利用者やすれ違い車両、歩行者等の道路利用者に幅広く啓発できる効果を期待しています。

なお、6月3日(月)に、静岡市内のバス営業所において、バス出発式を開催しました。



出発式



バスの運行状況(県庁前)

「土砂災害・全国防災訓練」を実施

～避難の呼びかけ、安全の確認～

6月2日(日)の全国統一実施日を中心に、「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。

この訓練は、6月の「土砂災害防止月間」の取組の1つとして、土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図ることを目的に、土砂災害警戒区域等の住民が参加する実践的な避難訓練です。

本年は、令和4・5年と2年連続で台風により多くの土砂災害が発生した教訓を生かし、より実効性のある訓練として「避難の呼びかけ、安全の確認」をキャッチフレーズに、地域内での呼びかけによる避難や安全を確認する訓練を重点的に行いました。

統一日には、18市町で地域住民や関係機関など約1,100人がモデル地区訓練(実動訓練)に参加し、避難指示に伴う住民や要配慮者等の避難訓練を行うとともに、ハザードマップで危険な区域や避難場所、安全な避難路を確認するなど、自助・共助による防災意識を高めました。また、訓練終了後には、県・市職員による土砂災害防止講習会を実施しました。

なお、統一日以外にも10市町でモデル地区訓練を行い統一日とあわせて、約1,900人が参加しました。

訓練参加市町

- ◆6月2日(日)…………… 下田市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、熱海市、沼津市、三島市、裾野市、長泉町、富士市、富士宮市、牧之原市、吉田町、掛川市、袋井市、菊川市、森町
- ◆6月2日(日)以外……… 島田市、磐田市、焼津市、藤枝市、静岡市、伊豆の国市、伊東市、清水町、小山町、川根本町

訓練の状況



ハザードマップの確認
(6月2日：松崎町)



避難状況
(6月2日：森町)



土砂災害講習会
(6月2日：西伊豆町)



安否確認状況
(6月2日：袋井市)



土砂災害警戒区域現地確認状況
(6月2日：裾野市)



警察署長・町職員による防災講話
(6月2日：長泉町)



土砂災害警戒本部設置状況
(6月2日：牧之原市)



消防隊による避難 TENT 設営
(6月2日：松崎町)



高校生ドローン隊によるドローン操作訓練
(6月2日：掛川市)

「七夕豪雨災害」から50年 ～あの土砂災害を自分事に～

七夕豪雨災害とは

昭和49年の7月7日から8日にかけて、台風8号の影響により、静岡市を中心に総雨量500ミリを超える大雨となりました。この大雨により、県内各地で河川の氾濫や土砂災害が多く発生し、死者44人、負傷者241人、全半壊家屋約600棟などの甚大な被害となりました。特にがけ崩れが4,229箇所で発生し、35名の方がお亡くなりになりました。

急傾斜地崩壊対策事業の推進

この災害では、死者44人のうち、35人ががけ崩れによる犠牲者であったことから、県では土木や農林などの関係部局による「急傾斜地プロジェクトチーム」を編成し、昭和42年の事業開始から実施してきた急傾斜地崩壊対策事業を抜本的に推進することとしました。

これを契機に、静岡市をはじめ、多くの市町村で急速に急傾斜地崩壊対策事業が実施されることとなり、その後飛躍的に整備率は向上しました。

由比地区地すべり対策事業

七夕豪雨では、日本の交通の大動脈が集中する由比地区（静岡市清水区）において、東海道本線が7日間、国道1号が23日間不通となる大規模な地すべりが発生しました。昭和49年8月に国、県、当時の国鉄などによる「由比地区地すべり対策連絡会議」で対策を検討し、由比地区の東側で林野庁の直轄事業に着手し、平成12年度に完成しました。西側については、国土交通省所管の県事業に着手し、平成17年度から施工範囲を拡大し、直轄事業を実施しています。

七夕豪雨災害シンポジウムの開催

令和6年は七夕豪雨から50年の節目になります。

七夕豪雨災害を伝え、学び、一人ひとりができることは何かを考えていただくため、7月6日にグランシップ（静岡市）で「流域治水シンポジウム」を開催しました。

当日は約400名が参加し、小和田静岡大学名誉教授の講演等を熱心に聞いていただくなど、災害を自分事として捉えていただく機会となりました。

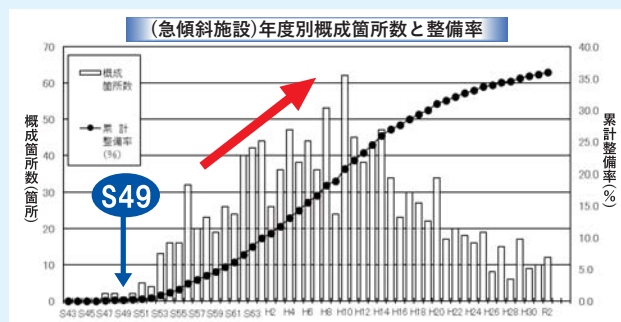


昭和49年7月8日
新聞記事

がけ崩れにより電柱や
建物が損壊（静岡市）



土砂崩れで7人の
犠牲者を出した
松富上組地区（静岡市）



昭和49年7月9日
新聞記事

濁り沢の地すべり
発生時の状況



東海道本線の
復旧状況



七夕豪雨災害
シンポジウム



鋼管土留工



排土工完了（昭和58年）排土量27万㎡

令和5年度

砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂防事業

とがみさわ

●外神沢砂防堰堤工（藤枝市岡部町三輪地先）



外神沢では、砂防堰堤1基を整備し、人家95戸、県道焼津岡部線の保全を図りました。

みどうがわ

●三堂川砂防堰堤工（賀茂郡西伊豆町仁科地先）



三堂川では、災害関連緊急砂防事業として砂防堰堤1基を整備し、人家8戸、国道136号の保全を図りました。

急傾斜地崩壊対策事業

しきね

●敷根B法面工（下田市敷根 地内）



敷根Bでは、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策工事として法面工を整備し、人家7戸と市道、河川の保全を図りました。

ならまいえのかみ

●奈良間家ノ上擁壁工（静岡市葵区奈良間 地内）



奈良間家ノ上では、急傾斜地崩壊対策工事として擁壁工等を整備し、人家5戸と公民館の保全を図りました。

※令和5年度に工事を実施し、完成した箇所

事業名	箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
砂防	三堂川	下田土木	西伊豆町仁科	122	R4	透過型、H=5.5m、L=39.0m ※災関
	谷戸山沢	下田土木	南伊豆町加納	100	R3	透過型、H=5.5m、L=23.0m
	志んど川	下田土木	南伊豆町青市	180	R1	透過型、H=7.0m、L=41.0m
	外神沢	島田土木	藤枝市岡部町三輪	150	R1	透過型、H=6.5m、L=62.0m
	黒石南沢	袋井土木	森町問詰	195	R2	透過型、H=13.0m、L=40.5m
急傾斜地崩壊対策	敷根B	下田土木	下田市敷根	151	R4	法面工 A=1,422m ²
	寺の脇	下田土木	賀茂郡松崎町松崎	216	H25	擁壁工 L=144.3m
	水落	熱海土木	伊東市岡	274	H26	法面工 A=678m ²
	毛勝原	沼津土木	伊豆市月ヶ瀬	297	H29	擁壁工 L=190m
	奈良間家ノ上	静岡土木	静岡市葵区奈良間	148	H26	擁壁工 L=158.4m
	奥ノ谷	静岡土木	静岡市葵区南沼上	190	H27	擁壁工 L=150m
	大日堂	島田土木	島田市岸	177	R2	擁壁工 L=62.5m
	出本	島田土木	島田市川根町笹間上	268	H30	擁壁工 L=337m
	向笠竹之内新豊院山B	袋井土木	磐田市向笠	165	H30	擁壁工 L=119m

※地すべり対策事業は完成箇所無し

小山町

都市基盤部建設課

小山町は静岡県の北東端に位置し、東を神奈川県に、北西を山梨県に接している県境の町で、町の北西端は富士山頂に達し、富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系と、北東方は丹沢山地、東南方は箱根外輪山に囲まれた東西に長く伸びた町です。

面積は135.74㎡で、市街地・農耕地は海拔300m～800mの緩傾斜地帯にあります。

河川は源を富士・箱根山麓に発する鮎沢川が馬伏川、須川、野沢川を合して東に流れ、神奈川県に入ると酒匂川となって相模湾にそそぎます。

本町は令和3年に「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」の自転車競技が行われ、世界のトップアスリートが東京都から町内の富士スピードウェイを目指して走り、多くの人々に感動と勇気を届けました。町は東京2020大会の記憶や記録を継承するとともに地域の特性を活かしたスポーツツーリズムの推進に取り組んでいます。



東京2020オリンピック・パラリンピック大会の様子



令和元年10月豪雨被害の様子

また、令和元年10月には町内で連続雨量700ミリの豪雨に見舞われ鮎沢川とその支流が増水し、家屋への土砂流入や床上浸水などの建物被害が発生しました。幸いにも地域の方の声掛けや早めの避難行動により人的被害は出ていませんが、災害を過去のものとして、町内小中学校での「静岡県ジュニア防災士防災教室(自主開催)」の開催や住民の土砂災害防止訓練等により防災意識を高め、防災・減災対策に取り組んでまいりますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

歴史探訪

全国治水砂防協会静岡県支部の誕生

前号では、恐慌などで疲弊した農山村に対して、昭和7年～9年に「時局匡救事業(じきよくきょうきゅうじぎょう)」で実施した砂防事業が、農山村に多大なる恩恵を与えたことや砂防事業費が大幅に増加したことに触れました。今号ではその後に設立された「全国治水砂防協会」や「全国治水砂防協会静岡県支部」について紹介します。

「時局匡救事業」終了後、砂防事業費が大幅に減額される報道があり、昭和9年に各地で大きな被害をもたらした室戸台風では、砂防施設の有無で被害に格段の差が生じていたことから、砂防事業の恩恵を受けていた住民や関係者に大きな衝撃を与えました。

砂防施設の効果を肌で感じた長野県の県議会議員らが上京し、全国の砂防事業を統括する内務省の赤木正雄技師を訪ね、砂防事業費の減額の不安を訴えました。もともと砂防事業費の継続に大きな不安を持っていた赤木技師は、住民の命を預かっている市町村長たちの意を伝える組織の必要性を感じ、「全国治水砂防協会」を昭和10年に設立しました。その後、全国で支部が順次設置され、静岡県では、昭和10年11月1日に設立総会が開催され、「静岡県砂防協会」が誕生しました。

「静岡県砂防協会」の設立当時、協会の会員は61市町村(全319市町村)、個人会員1名であり、会費は市町村1,500円、個人500円でした。また、昭和15年2月25日には「全国治水砂防協会」の社団法人化を受けて、「静岡県砂防協会」は、「全国治水砂防協会静岡県支部」となり、初代の支部長には、当時の衆議院議員宮本雄一郎氏が就任しました。

「全国治水砂防協会静岡県支部」の設立から今年で84年となります。今後も国や会員の皆様との連携を大切に、砂防協会の目的である「砂防事業の推進や周知」を図るよう一層邁進して参りますので、会員をはじめ、関係の皆様方には御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度 東海地区砂防課長会議・東海ブロック砂防主管課長会議を開催しました

4月22日(月)に、当県が幹事県として、東海地区砂防課長会議・東海ブロック砂防主管課長会議を愛知県名古屋市のアイリス愛知で開催しました。

国土交通省砂防部砂防計画課永野課長補佐をはじめ、中部地方整備局及び岐阜県・愛知県・三重県・静岡県の各県砂防主管課長等が出席しました。

会議では、国土交通省砂防部からの連絡事項「砂防行政に関する最近の話題」、本省の議題や各機関からの提案議題などについて、活発な討議を行い、本年度の事業の推進について情報の共有を図りました。



議題に対する活発な討議

「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ会」を開催しました

6月10日(月)に、「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ会」を、静岡県庁で開催しました。この会議は、県内の直轄砂防事務所である静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所と県砂防課が、本年度の事業計画や最新の砂防行政の取組、連絡事項等を情報共有し、各機関の円滑な事業実施を目的に開催しています。

各機関による事業実施状況の報告後、砂防指定地の指定範囲や監視方法、土砂災害警戒区域の新規抽出箇所、砂防DXや不調・不落対策などについて情報を共有し、活発な意見交換を行いました。



活発な意見交換

水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会を開催しました

5月24日(金)から6月3日(月)にかけて、県内4会場で県土木事務所、各地域局及び各市町の職員(河川担当、砂防担当、防災担当、開発担当)を対象とした「水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会」を開催しました。

気候変動の影響により、近年、豪雨災害が激甚化・頻発化しており、関係機関が連携して水害対策や土砂災害対策に取り組む必要があることから、出水期前に、水害や土砂災害に対する警戒避難体制の充実強化を目的とし、以下の議題について先進的取組や課題を共有しました。

- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成
- ・実効性のある避難の確保
- ・開発(土地改変行為)への対応に関する課題



意見交換の状況(東部地区)

令和6年度 安倍川大規模土砂災害合同防災訓練が開催される

6月5日(水)に、静岡河川事務所主催の安倍川大規模土砂災害合同防災訓練が開催されました。

この訓練は、様々な事象により発生する大規模土砂災害(河道閉塞、地すべり、その他同時多発的に発生する土砂災害)に対し、静岡市、静岡県、国土交通省等の各防災担当者の災害対応能力向上を目的に、令和4年度より実施しています。

令和6年度は、土砂災害が同時多発した災害シナリオにより、関係機関が連携して対応する「質疑応答型訓練」を実施し、災害時の局面に応じた判断力や関係機関の調整等に関して、高度かつ総合的な対応能力の向上を図りました。



参加機関による「質疑応答訓練」への対応状況

市町等砂防担当職員研修を開催しました ～土砂災害警戒情報による「早期避難を目指して!」～

6月7日(金)(県庁)及び6月14日(金)(県下田総合庁舎)に、市町等の砂防・防災担当職員を対象として、土砂災害に関する防災気象情報や「危険度分布」を確認できるウェブサイトなどの実践的な操作研修を静岡地方気象台と共同で開催し、市町及び県の担当職員42名が参加しました。

研修では、静岡地方気象台の村田土砂災害気象官から「静岡県の気象と防災気象情報」と題し、県内に激甚な被害をもたらした令和4年の台風15号被害の特徴などの説明をいただきました。砂防課からは、県ホームページの「土砂災害警戒情報補足情報システム」の操作をパソコンで行い、避難指示の発令を想定した危険度判定や避難対象地区の絞り込みなどの演習を行いました。

今後梅雨・台風シーズンを迎え、土砂災害が発生しやすい時期となることから、参加者からは、「実際の水防業務の参考となった」、「補足情報システムの操作演習を今後の災害対応に活用したい」など、多くの貴重な意見や感想が寄せられました。



「土砂災害警戒情報補足情報システム」の操作演習(6/7)



静岡地方気象台村田土砂災害気象官の説明(6/14)

『第25回砂防ボランティア全国のつどい』及び 『令和6年度(第42回)土砂災害防止「全国の集い」in広島』が開催されました

6月6日(木)に、「第25回砂防ボランティア全国のつどい」と『令和6年度(第42回)土砂災害防止「全国の集い」in広島』が広島市で開催されました。

「砂防ボランティア全国のつどい」では、長年にわたり県民に対する土砂災害防止の重要性の周知や防災意識の啓発が評価され、当県職員OBの加納 章氏が、「砂防ボランティア功労者表彰」を受賞しました。

また、「全国の集い」では、『繰り返される土砂災害との闘い～土砂災害の歴史や社会情勢の変化を踏まえた今後の取り組みを考える～』をテーマに、広島県の土砂災害の歴史や土砂災害対策の取組などのパネルディスカッションが行われました。当県のポスターセッションでは、土砂災害発生件数が全国最多となった令和4年度の台風15号などの土砂災害や災害関連緊急事業の実施状況について紹介しました。

7日(金)には、現地研修会が実施され、国の重要文化財である「紅葉谷川庭園砂防(宮島)」、平成26年度に土砂災害のあった広島市安佐南区の「小原山砂防堰堤」、H26土砂災害を後世まで伝える「広島市豪雨災害伝承館」などの視察を行いました。



砂防ボランティア功労者表彰を受賞した加納章氏(右)



静岡県のポスターセッション

急傾斜パトロールの実施～関係機関や砂防ボランティアとの協働～

急傾斜地崩壊危険区域において、市町、警察や消防等の関係機関及び砂防ボランティアと連携し、急傾斜地崩壊防止施設の異状の有無、斜面の状況確認及び排水路の機能等を点検する急傾斜地パトロールを実施しました。

昨年度からタブレットを活用した点検を行っており、点検結果の入力や報告書作成などの事務作業軽減が図られています。



パトロール実施状況

【令和6年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。
御活用いただきありがとうございます。



募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

【募集対象】 小・中学生 【応募期間】 6月1日(土)～9月15日(日)

【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。

【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 砂防班

TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/sabo/index.html>



ジオフォーラム 2024 IN 静岡

【日 時】 令和6年11月8日(金) 10:00～16:30

【会 場】 しずぎんホール ユーフォニア

※全国治水砂防協会静岡県支部が協賛しています。

参加
無料



8月22日(木)～24日(土) 市町長等砂防事業県外視察(広島県)

9月 1日(日) 防災の日

11月14日(木) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)

11月14日(木) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館等)

11月28日(木) 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(三重県内)

11月予定 市町等砂防担当職員現場研修



【表紙写真】

雲海に浮かぶ富士(撮影地:静岡市)

写真提供: 静岡県観光協会

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

向夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

6月の砂防フェスティバルには大勢の方に御来場いただき、盛大に開催することができました。また、土砂災害防止のバス前幕の掲出台数も増やし、様々な形で周知啓発に努めてまいりました。今後も砂防事業の周知啓発に注力してまいりますので、御指導御鞭撻のほど宜しくお願い致します。末筆ながら、皆様の一層のご隆盛を心よりお祈り申し上げます。

全国治水砂防協会静岡県支部 小杉祐子

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/sabo/index.html>



第214号 発行日: 令和6年7月15日

編集・発行: 全国治水砂防協会静岡県支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sbkk_s@yahoo.co.jp

